

第1部 演題

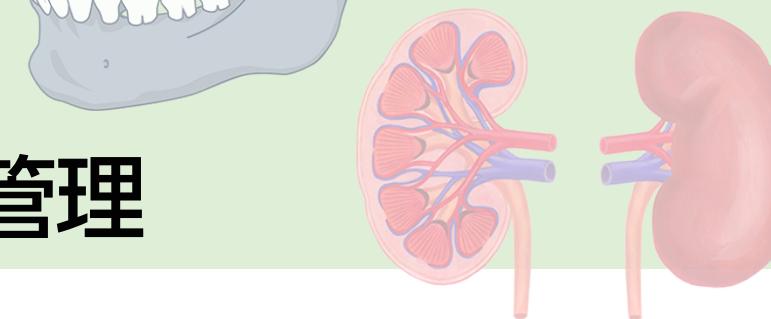
# 薬剤関連顎骨壊死(MRONJ) ～これまでとこれから～



2026  
2/20  
金

第2部 演題

# サルコペニアを意識した 慢性腎臓病の栄養管理



第1部 講師

歯科口腔外科・矯正歯科  
准教授 河野 通秀 医師



第2部 講師

腎臓内科  
講師 長井 美穂 医師



薬剤関連顎骨壊死(MRONJ)は、がんや骨粗鬆症の治療薬の影響で顎の骨が壊れてしまう病気です。従来はうがいや抗菌薬の内服などの保存的治療を中心でしたが、近年は壊死した骨を取り除く外科治療が根治を目指す方法として広がってきました。当院では、積極的に根治的な外科治療を取り入れ、良好な成績を得られていますが、全身状態などの理由で手術が難しい患者さんも少なくなく、その数をいかに減らすかが今後の大変な課題です。本講座では、MRONJの基礎知識に加え、最新の治療法、公式見解に基づく予防やオーラルフレイル(お口の衰え・機能の低下)予防を通じた「治せる患者さん」を増やすためのポイントを、わかりやすくお話しします。

2002年に提唱された“Chronic Kidney Disease (CKD)”すなわち“慢性腎臓病”的概念は、腎臓機能の低下が続く状態をいい、初期ではほとんど症状がなく、発見には定期的な健康診断が推奨されます。現在、日本では5人に1人が慢性腎臓病で、糖尿病・高血圧・肥満などの生活習慣病が原因となることも多く、食事や運動習慣の見直しや改善が必要です。一方、日本社会の高齢化に伴い腎疾患を有する高齢者も急増し、サルコペニアなどの筋肉消耗性疾患や栄養障害の合併が増え、これらの対策が重要な課題となっています。今回は、腎臓を守る食事のヒントや、元気に過ごすためのサルコペニア対策を意識した腎臓病の栄養管理や生活習慣の改善方法について解説します。

日 時 2026年2月20日(金) 開場 16:30 開演 17:00～ 閉演 18:30(予定)

会 場 東京医科大学病院 本館9階 臨床講堂(最寄駅:丸ノ内線 西新宿駅)

申 込 事前の申込は不要。当日は会場に直接お越しください。

※尚、座席数に限りがございます(360席)。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。